

通信小海

「夫婦の倫理（1）」

牧師 荒俣 実 あらかみ まこと

聖書の中にあるエペソ人への手紙から夫婦の倫理について考えてみましょう。手紙の著者であるパウロが初めに呼びかけている相手は、妻たちです。「妻たちよ。あなたがたは、主（キリスト）に従うように、自分の夫に従いなさい。」ここで間違えてはならない点は、女性は男性に従いなさいと言っているのではなく、妻は自分の夫に従うようにと勧められていることです。当時の道徳家たちは妻が夫に服従することは正しいことであり、それがものごとの自然な秩序であると教えられました。パウロは、それをキリスト者の義務であると述べました。人間の価値観や倫理を越えて、創造主なる神の定めであると教えたのです。「主に従うように」という言葉は、妻が夫に従うことは、主から妻に与えられた義務

「今月のみことば」

「妻たちよ。あなたがたは、主に従うように、自分の夫に従いなさい。」
エペソ人への手紙 6章22節

務であるという意味です。それは、神が被造物に定められた秩序によって、妻は夫のもとに助け手として置かれているからです。助け手は、その相手の上に立つのではなく、愛し、敬い、従順な思いでなければ、その務めを果たすことができません。さらに、パウロは、妻と夫の関係をキリストと教会の関係に言い換えて説明します。「なぜなら、キリストは教会のかしらであって、ご自身がそのからだの救い主であられるように、夫は妻のかしらであるからです。」このパウロの主張から、教会（キリストに召された者の群れ）はかしらであるキリストに、妻はかしらである夫に従う義務があることが分かります。ここで目を留めるべきことは、キリストが教会の救い主、解放者であり、擁護者であるように、夫は妻を守るべき存在であるということです。パウロは妻に対し、教会がキリストに従うように、夫に従いなさいと勧めています。

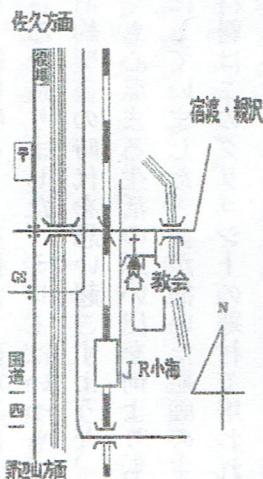
日本同盟基督教団 小海キリスト教会

南佐久郡小海町大字小海四三五・二七

〒三八四・一〇二 TEL 0267・88・7169

〒振替 00530・0・61683

見晴台の教会へどうぞ



集会あんない

日曜日 朝礼拝 午前十時から十一時半

夕礼拝 午後八時から九時

金曜日 聖書の学び 午後八時から

*個人的な聖書勉強や個人的なご相談にも乗ります。

*初めての方も遠慮なくお越しください。

※当教会は正当なプロテスタントの教会であり、エホバの証人・統一協会とは一切関係ありません。

教会がキリストに従うとは、奴隸的な服従ではなく、心から喜んでキリストに従うことを意味しています。教会がキリストに喜んで従うのは、キリストが教会のために愛の犠牲を払われたからです。つまり、それと同じように、妻が夫に従うことの背後には、夫の妻に対する愛と保護があるので、それなら、夫が自分に対して愛と保護を十分に果たしていない場合には、夫に従わなくてもいいのでしょうか。いいえ、その場合でも妻は夫に従わなければなりません。なぜなら、与えられている特権のみを主張しないで、まず、自分の責任を果たすことが聖書の教える夫婦の倫理の基本姿勢だからです。今回は、夫の責任について共に考えましょう。どうしたら幸せな家庭生活、神様に祝福された夫婦関係を築くことができるのか知りたい方は、是非、教会へお越しください。聖書の教えに従うためには、まず神様と自分との関係を見直す必要があります。いつでも、教会はあなたのお越しをお待ちしております。



連載

信仰の眼で読み解く絵画

岡山 敦彦 【著】

第二章 ミレー

〜農民画家としての信仰の生涯〜 ②



ミレーは両親と祖母の教育としつけ、そして良い宗教的影響の中で育ちました。彼に大きな影響を与えた人物に、大叙父のシャルル・ミレーがいます。カトリック教会の聖職の経験のあるシャルルは、村に帰って世俗の仕事に戻ってからも、カトリック教会の戒律を忠実に守り続けようと決心し、スータンという神父の長衣を身にまとい、木靴を履いて労働に従事しました。畑で聖書日課を読み、畑仕事をしながら神への瞑想の生活をして、ミレー家の子どもたちに生きた模範を示した人でした。幼かったミレーには、労働の厳しさを、尊さを理解できなかったにせよ、大叙父の存在は彼の心に深く刻

み込まれていました。大叙父や祖母は寒村のグリュシー村で信仰書や宗教哲学書を読んださん提供しました。ミレーは若い頃、これらの書物を読むように読み、聖書を生涯を通じて何度も読み返しました。聖書の主題が農民画家ミレーの絵画の主題でもありました。

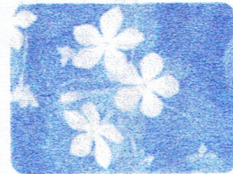
ミレーの育ったグレヴィル村の小集落グリュシーは、ほとんどすべての生活必需品を造って自給自足に近い暮らしを営んでいました。そのために、女性たちは羊毛や麻を紡ぎ、縫い物をし、男性たちは巧みにかごやざるを造りました。ミレーはいつも、この旧約聖書の時代を思い起こすような、貧しくも心温まる生活の思い出を何よりも大切にしています。彼が描いた絵画の主題、材料はこのグリュシーの寒村で培われたものです。彼が農民画家として成功し、偉大な称号と名誉を受けることになった下地は、彼のグリュシー村での生活の中で準備されていたのです。

このような神によって整えられた環境があったからこそ、彼の名画が生まれました。

（続く）

ニチニチソウ

日日草・日々想



「満ち足りる心」

聖書は神様のことばなので、当たり前と言えば当たり前なのですが、何度読んでも「本当にその通りだなあ」と胸に落ちるものが沢山あります。その一つに「満ち足りる心を伴う敬虔こそ、大きな利益を受けらる道です。」というみことばがあります。これは、金銭に対する欲を戒めることばに「つながつて展開される文脈ではありませんが、金銭のみならず、私たちの生活、仕事、勉強、人間関係あるいは自分自身に対して、「もつともつ」との欲があるものですね。

もちろん、「よりよく」を目指す向上心や改善していく努力は尊いもの

であり、聖書の中にもそのように励ますことばもあります。やみくもに何でも「今のままでいい」と考えるように言われている訳ではありません。けれども人はとにかく「必要」とするもの以上に「欲しい」ものに心が傾いて、生きるために必要なものは十分与えられているにも関わらず、「欲しい」だけのものについて不安や不満を抱いてしまうものなのだと思えます。

夫婦や親子の関係においても「もつとこうあつて欲しい、もつとこうして欲しい」という、期待という名の身勝手な思いが私のうちにも根深くあることを自覚します。「必要」は、居てくれるその存在だけで十分満たされているはずなのではないかと。

欲しいものすべてがなくても満足できる道、それは「いま持っているもので満足しなさい。」と別の箇所であらわれている通り、「与えられている今の状態」を受け止めて感謝し、そこに満たされることなのだと思えます。聖書は語ります。さらなるものを目指してその先へ進む力も、根底

に「満ち足りる心」があつてこそ湧き上がり、健全に働くのだと思えます。この「満ち足りる心」という言葉の響きを味わうだけでも、気持ち前向きになります。心を満たし続けて下さるイエス様につながつて、聖書に語られることばに生きること。それが「どうしたら幸せになれるか」という人の永遠のテーマに対する唯一の答えでしょう。

神様のことは常に人間の知恵や悟りを越えて先を行くものであつて、だからこそ道しるべとして聖書が与えられているのだということをおぼわされます。時に悩んだり迷つたりしてアドバイスを求めて出かけてみても、いわゆる「ナントカ学」や平積みされるような本の「ナントカ論」は「すでに聖書に語られている」ということを知らされるので、解決のための具体的な支援や様々な方法論も、もちろん必要であり助けになります。けれどもやはり、何にもまさる聖書なのだということの確信を強められることの頃です。

暮らしの くすりばい

《今月の処方箋》

◆夏こそ脳梗塞予防◆



脳梗塞や脳出血などは、血圧が上昇しやすい冬に多く発症すると思われがちですが、国立循環器病センターの統計によると、6～8月の夏場に最も多く発症しています。

汗をかいたり、体から水分が蒸発したりすると、血液中の水分が減り、血液が凝縮されてドロドロになり、血栓ができてやすくなるのが、脳梗塞の発症が増える主な原因です。高齢者の場合、もともと体内の水分量が少なくなっているなどの要因もあり、脱水症を起こしやすいので特に注意が必要です。

夏の脳梗塞予防には、水分補給と十分な

ミネラルを摂れる食事が欠かせません。

水分は、一汁三菜の食事を朝・昼・晩の三食で約1ℓ、さらに、水やお茶、牛乳などの飲み物で1ℓ、合計2ℓ（それ以上）が一日にとりたい量の目安です。一度に大量に飲むよりも、少量ずつ回数を多くするのがコツです。寝ている間にもコップ一杯程度の水分が失われるので、寝る前と起きた時にも200ml前後の水分を摂るようにしましょう。

長時間大量に汗をかいた時以外、塩分（ナトリウム）は通常の食事で十分と考えられています。カリウムを多く含み、水分も豊富な野菜や果物、きのこ類を積極的に取り入れ、栄養の偏りなくバランスよく食べるのが一番です。

さらに、睡眠不足や疲労の蓄積は血圧の上昇を招き、動脈硬化を進行させるといわれています。忙しい時期ではありませんが、睡眠や休息の時間も確保しつつ、無理をなさらずに。



毎月第3土曜日

★ハレルヤキッズ★

7月は15日です★

遊びに来てね

路上生活者支援

山谷（やま）農場

お寄せください！

特に今、必要としているもの…未使用切手やハガキ（書き損じ可）、タオル（未使用のもの、バスタオル不可）、固形化粧石けんをどうぞよろしくお願いいたします。

なお、お米は8月末まで受付休止です。

〈連絡先〉 藤田 寛

TEL 090・1436・6334

FAX 042・786・2088

メール nyoro@beige.ocn.ne.jp

〈物資送付先〉 小海キリスト教会、または、南牧村社協へ。〒384・1302南牧村大字海ノ口966・15南牧村社会福祉協議会 会気付 山谷農場

*着払い送付はご遠慮ください。

*土曜日の配達指定でお願いします。

山谷農場事務局（藤田）小海町芦谷ヒルサイドコーポ一〇二号室 毎週土曜

カンパ：振替〇〇二四〇・四・五三七九六

